

平成31年度 授業改善推進プラン

第1学年（女子） 保健体育科

1 目指す学力・目指す授業

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲の向上を目指す。
- ・授業のねらいの明確化、指導内容の焦点化と流れの提示、反復学習による知識の定着化を図り、一単位時間の授業で何がわかり、何ができるようになったかを生徒自身が実感できる授業を組み立てていく。

2 生徒の現状

＜定期考査や平成30年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活運動習慣等調査等からの分析＞

- ・運動に対する関心は高く、課題の達成に向けて一生懸命に取り組む姿勢が見られる。
- ・落ち着いて取り組み、指示を聞くことができ、授業のめあてを理解している生徒が多い。
- ・学習カードからは、丁寧に授業の振り返りをすることができていることや、自己の課題を明確にしている様子が見られる。
- ・新体力テストでは、巧緻性が低い傾向があり、ハンドボール投げにおいては、全身を使ってボールに力を与える動作が上手にできない生徒が多い。

3 生徒の学力・学習状況等の課題

- ・運動を苦手とする生徒やグループ学習に消極的な生徒に対して、個々の課題に応じたアプローチを図ること。
- ・繰り返し学習により基礎的・基本的な技能の定着を図ること。
- ・保健分野の学習において、身近な事柄とのつながりから興味を深め、意欲を高めていくこと。
- ・生徒の授業アンケート（7月実施）において、「評価方法を理解していますか」との質問に「いいえ」「どちらかといえばいいえ」と回答した生徒が約20%いたため、具体的な評価方法について伝え、授業のめあてを理解させること。

4 具体的な授業改善策

- ・授業のめあてを適確に伝え、ポイントを明確にした指導をするとともに、グループ学習の場を設定して、仲間とアドバイスし合うことや仲間の運動を認め合うことができる環境を整える。
- ・毎時間の補強運動では、協力し楽しみながら行うペアエクササイズを取り入れる。
- ・ICT機器を活用することにより、自分の動きを客観的に分析することや、グループ活動で互いの意見を共有することを明瞭にすることで、課題の解決に向かわせるようにする。
- ・体づくり運動と各分野の運動をつなげ、楽しく体を動かすとともに、体力の向上を図ることのできる授業展開を進める。
- ・授業の最後にまとめ・振り返りの時間を設定し、その日の達成度や次の時間へ向けての課題を確認できるようにする。

第2学年女子 保健体育科

1 目指す学力・目指す授業

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲の向上を目指す。
- ・授業のねらいの明確化、指導内容の焦点化と流れの提示、反復学習による知識の定着化を図り、一単位時間の授業で何がわかり、何ができるようになったかを生徒自身が実感できる授業を組み立てていく。

2 生徒の現状

<定期考査や平成30年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活運動習慣等調査等からの分析>

- ・課題の達成に向けて一生懸命に取り組む姿勢が見られる。
- ・落ち着いて取り組み、指示を聞くことができ、授業のめあてを理解している生徒が多い。
- ・学習カードはほとんどの生徒が提出できているが、自己の取組について分析することが不十分な生徒が多い。
- ・体力が十分に備わっていない生徒が多く、50m走や1000m走では、東京都や全国の平均値を下回っている生徒が多い。また、巧緻性も低い傾向があり、ハンドボール投げにおいては、身体を操ってボールに力を与える動作が上手にできない生徒が多い。

3 生徒の学力・学習状況等の課題

- ・互いにアドバイスをするなどの活動に消極的であるため、学び合いの場を設定すること。
- ・繰り返し学習により基礎的・基本的な技能の定着を図ること。
- ・保健分野の学習において、身近な事柄とのつながりから興味を深め、意欲を高めていくこと。
- ・生徒の授業アンケート（7月実施）において、「あなたは授業が楽しいですか。」の質問に「いいえ」「どちらかといえばいいえ」と回答した生徒が約27%いたため、運動の意義や楽しさを味あわせたり達成感をもたせる工夫が必要であること。

4 具体的な授業改善策

- ・授業のめあてを適確に伝え、ポイントを明確にした指導をするとともに、グループ学習の場を設定して、仲間とアドバイスし合うことや仲間の運動を認め合うことができる環境を整える。
- ・毎時間の補強運動では、協力し楽しみながら行うペアエクササイズを取り入れる。
- ・自分の動きを客観的に分析できるよう、タブレットなどICT機器を有効に活用する。
- ・走運動を重視するとともに、長距離走の授業では学習カードを活用し、自分の走りをグラフ化するなど目に見える形で示し、意欲を高めさせる。
- ・体づくり運動と各分野の運動に関連をもたせ、楽しく体を動かすとともに、体力の向上を図ることのできる授業展開を進める。
- ・授業の最後にまとめ・振り返りの時間を設定し、その日の達成度や次の時間へ向けての課題を確認できるようにする。

第3学年女子 保健体育科

1 目指す学力・目指す授業

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲の向上を目指す。
- ・授業のねらいの明確化、指導内容の焦点化と流れの提示、反復学習による知識の定着化を図り、一単位時間の授業で何がわかり、何ができるようになったかを生徒自身が実感できる授業を組み立てていく。

2 生徒の現状

<定期考査や平成30年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活運動習慣等調査等からの分析>

- ・運動に対する関心が高く、苦手な種目にも繰り返し取り組む姿勢が見られる。
- ・学習カードでは自己の取り組みを分析することができ、意欲的である。
- ・個人種目において、仲間とコミュニケーションを図りながら取り組む姿勢が見られ、互いにアドバイスし合い、課題を解決することができている。
- ・東京都統一新体力テストの結果を見ると、どの種目も東京都平均・全国平均を上回っている。測定種目の中では「ハンドボール投げ」の記録が低い。手と同じ側の足を前に出してしまうたり、肘が前に出たダーツの様な投げ方になったりしてしまう生徒が多く、体全体を使った大きなフォームで投げる事が課題と考えられる。

3 生徒の学力・学習状況等の課題

- ・運動を苦手とする生徒やグループ学習に消極的な生徒に対して、個々の課題に応じたアプローチを図ること。
- ・繰り返し学習により基礎的・基本的な技能の定着を図ること。
- ・保健分野の学習において、身近な事柄とのつながりから興味を深め、意欲を高めていくこと。
- ・生徒の授業アンケート（7月実施）において、「あなたは授業が楽しいですか。」の質問に、「いいえ」「どちらかといえばいいえ」と回答した生徒が薬18%いたため、運動の意義や楽しさを味あわせたり達成感をもたせる工夫が必要であること。

4 具体的な授業改善策で

- ・苦手な生徒に対する段階に応じた指導とポイントを明確にした指導をするとともに、グループ学習の中で仲間と学習し合える場を設定し、積極的に取り組む態度を育てる。
- ・毎時間の補強運動では、協力し楽しみながら行うペアエクササイズを取り入れる。
- ・自分の動きの分析や保健分野での調べ学習において、タブレットなどICT機器を有効に活用する。
- ・体づくり運動と各分野の運動をつなげ、楽しく体を動かすとともに、体力の向上を図ることのできる授業展開を進める。
- ・授業のはじめに、授業のめあてを適確に伝え、授業の最後にはまとめ・振り返りの時間を設定し、その日の達成度や次の時間へ向けての課題を確認できるようにする。